

「なごや飲食夜話」

(おんじきやわ) 二幕目

4月14日(火) 13:30~15:00

講師/東海学園大学教授
南山大学名誉教授

安田 文吉氏

会場/名古屋商工会議所
3階第4会議室

安田先生におかれましては、平成24年度の講座「なごや飲食夜話」の続き「なごや飲食夜話二

幕目」を

平成26年

8月上

梓されま

した。

一冊目

に続く名古屋の食文化のエッセーです。

講座では「こうせん」「アイスドリアン」「みかん水」など、昔懐かしい名古屋の食べ物、飲み物についてお話をいただきます。



三菱東京UFJ銀行 貨幣資料館見学

5月19日(火) 14:00

会場/三菱東京UFJ銀行貨幣資料館

名古屋市中区赤塚町25番地

(赤塚交差点南西すぐ国道19号線沿い)
基幹バス(赤塚白壁)停

下車徒歩1分

集合/13時45分 資料館入口

定員/40名

世界最大の金貨、世界最古の古代中国の貝貨、古代ギリシャ・ローマの貨幣、エジプトのクレオパトラ女王の肖像が描かれた銀貨やヤップ島の石貨等が展示されています。以下の見どころがあります。

【天正沢瀉 おもたぎ大判】

世界最大の金貨で豊臣秀吉が作らせた現存3枚。裏の墨書きは所持人で、秀吉から大名に下賜され、手形の裏書と同様に人手に渡ることにより名前や花押が記されています。

【万両箱】

千両箱は時代劇にも登場し、姿・形は広く知られていますが、万両箱となるとまさに天下一品で、万両の大金を保管する金庫、重量は約150kgもある重厚な箱です。

【両替商の復元モデル】

江戸時代に金融機関の役割を果たしてきた両替商の日々の業務は、現在の銀行と緊密なつながりがあり、いわば両替商は銀行の前身ともいえるべきものでした。大名や庶民(商人)を相手に、預金・貸付の業務を営むとともに、金・銀・銅の三貨幣と藩札などの両替や、遠隔地との商取引にともなう支払の決済方法として為替業務も営んでいました。

この両替屋の復元モデルでは、当時実際に使用されてきた道具類(天秤、舟筆筒(ふなだんす)等)を展示してその昔を再現しています。

「浜岡原子力発電所見学会」

6月24日(水)

見学先/中部電力(株) 浜岡原子力発電所

参加費/無料

集合/商工会議所 午前8時45分

定員/35名

申込締切日/5月20日(水)

第3回教養講座は、「中部原子力懇談会」様のご協力で静岡県御前崎市の浜岡原子力発電所見学ツアーです。地震・津波対策をはじめとした安全性向上対策の強化に取り組んでいる現状を見学いたします。

スケジュール	
8時45分	名古屋商工会議所1階 集合
9時00分	出発
11時40分	12時30分 昼食
13時00分	16時00分 浜岡原子力発電所
19時00分	名古屋商工会議所着後 解散

名古屋ポストン美術館 「ダブル・インパクト 明治ニッポンの美」

7月8日(水) 10:00

講師/名古屋ポストン美術館 学芸員 井口 智子氏

会場/名古屋ポストン美術館

集合/金山南ビル

(名古屋ポストン美術館のあるビル)

1階インターコモン(屋内公開空地)付近 9時50分

定員/40名



井上安治(東京名所従吾妻橋水雷火遠望之図)1888(明治21年)
Jean S. and Frederic A. Sharf Collection 2000.395a-c
Photograph ©2015 Museum of Fine Arts, Boston.

第5回

名古屋博物館

「魔女の秘密展」

8月11日(火) 13:30

講師/名古屋博物館 学芸員の方

会場/名古屋博物館

(名古屋地下鉄桜通線)

「桜山」下車、4番出口から

徒歩5分

■集合/博物館1階「展示説明室」

■費用/団体観覧料、一人1,100円

(観覧は任意です)

■定員/40名

日本では知り得なかった「魔女」がここに！ヨーロッパの魔女の歴史と真実を日本初公開。魔女とは悪魔と契約を交わし、超自然的な力で人々に災いをもたらす者。

この展覧会は、今までうかがい知ることのできなかった「魔女」を日本で初めて、多角的に紹介するものです。



- 1 「魔女」をテーマとした日本初の本格的かつ大規模な展覧会
- 2 ドイツ、オーストリア、フランスからの貴重な作品約100点公開
- 3 ヨーロッパの「魔女裁判」で使用された道具類、初来日!
- 4 メディアインスタレーションで「火あぶりの刑」シーンを体験

本講座は受講料不要とさせていただきます。

第7回

「四間道」

(子守り地蔵・五条橋・円頓寺・旧加藤商会ビル)

案内と散策

(徒歩 約2.5km)

10月6日(火) 13:30~15:30

講師/堀川 文化の会

伊藤みきお様

■集合/国際センタービル1F

(オープンスペース)

■国際センター駅下車すぐ

13時30分集合

■定員/40名

名古屋城下を流れる堀川沿いに位置し、江戸時代初期 名古屋城築城とともに造られた商人の町です。元禄13年(1700年)に発生した大火の後、商業町屋の防火を目的とし、道幅を四間(約7メートル)に拡張した事から「四間道」とその名前が付いたと言われております。石垣の上に建つ蔵や町屋が立ち並ぶ景観は元文年間(1740年)ごろに形成されました。堀川をめぐり約2時間、登録有形文化財の旧加藤商会ビル内部を見学して解散します。

(解散場所は伏見駅より500メートル西です)

第8回

「優雅で華やかな源氏物語の世界」

11月18日(水) 13:30~15:00

講師/岐阜聖徳学園大学

名誉教授 安田 徳子氏

■会場/名古屋商工会議所3階

第1会議室

■定員/40名

紫式部が書いた源氏物語の「千年の時空を超えて広がる・王朝絵巻の華やかな世界」を安田徳子先生に宇治十帖を中心にして御講義頂きますのでお楽しみ下さい。

11月26日(木)には秋のバス旅行を秋の京都府・宇治市へ、「源氏物語ミュージアム」と平等院を廻る「源氏物語」の世界に誘う紅葉の宇治と平等院」を催行いたします。

バスツアー参加の方は、旅の予習にもなるかと思っておりますので是非ともご聴講下さい。

第9回

愛知の歴史を調べる

【県史編さん事業】

12月3日(木) 13:30~15:00

講師/愛知県 県史編さん室長 服部 津年治氏

会場/名古屋商工会議所3階 第4会議室

定員/40名

愛知県では、原始・古代から現代に至るまでのこの地域の歴史を「愛知県史」全58巻にまとめる修史事業を、平成6年度から行っています。

考古、古代史、中世史、近世史、近代史、現代史に加え、民俗、文化財、自然史、更には、この地域の特徴でもある信長、秀吉、家康が活躍した時代を扱う織豊といった各部会に分かれて、県内・外で調査活動を展開しています。

こうした調査の状況や結果などを交え、愛知県史編さんについて説明いただきます。(開催日の変更になる場合がありますので、ご了承ください。尚変更の場合は、申し込みいただいた方々へ直接ご連絡させていただきます)

本講座は受講料不要ですが、お申し込みいただけます。

第10回

名古屋ポストン美術館

「ポストン美術館 ヴェネツィア展

魅惑の都市の500年

【学芸員によるレクチャー】

と展覧会観覧

1月21日(木) 10:00

講師/名古屋ポストン美術館 学芸員 宮永 郁恵氏

会場/名古屋ポストン美術館 集合/金山南ビル

(名古屋ポストン美術館のあるビル)

1階インターコモン(屋内 公開空地) 付近 9時50分

定員/40名



クロード・モネ《ヴェネツィアの大運河》1908年
Bequest of Alexander Cochrane 19.171
Photograph ©2015 Museum of Fine Arts, Boston.

第11回

「おひとりさま」

「おふたりさま」の終活

2月18日(木) 13:30~16:00

講師/株式会社「柳葬具總本店」 営業推進部長 加藤 智弘氏

会場/名古屋商工会議所3階 第4会議室

定員/40名

万が一のとき頼れる人がいますか?

自分のことは自分で準備しておきたいとお考えの方

他人に迷惑をかけない「ひとり」の締め切り方と

「自分の老後は自分で守る」秘策(一般社団法人 いきいきライフ協会名古屋代表理事 朽木瑛浩氏が講演)をお話します。

なお、株式会社「柳葬具總本店」から「立ちのノート(エンディングノート)」を差し上げます。

本講座は受講料不要ですが、お申し込みいただけます。

第12回

やきものの技と美

日本と愛知のやきもの

3月9日(水) 13:30~15:00

講師/愛知県陶磁美術館 主任学芸員 小川 裕紀氏

会場/名古屋商工会議所3階 第4会議室

定員/40名

陶器と磁器の違いとは、何でしょうか?

日本のやきものは一万年以上の長い歴史をもち、土器から陶器、磁器に至るまで、多彩な製品が作られてきました。

これらは原料、制作技法から、製品の材質、形や色などの造形要素、そして歴史が異なり、様々な視点から、その美が見出されてきたのです。

本講座では、日本、特に愛知県のやきものを中心に、その種類や歴史、そして美について、やきもの実物を用いながらお話しします。

本講座は受講料不要ですが、お申し込みいただけます。